

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部産業雇用支援課	■担当係	工業係
■評価事業名称	子ども創造塾事業		
■事業開始年度	平成17年度		
■評価事業コード	060200 - 225	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	01 学校教育の充実・家庭や地域の教育力の向上	
	■施策	03 学校・家庭・地域が連携した教育の充実	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称	北上市工業振興計画		
■事業の目的と概要	工業振興によるまちづくりを長期的に進めていくためには、ものづくりに関心を寄せる人材育成が重要であり、年少期の人材育成事業として、ものづくり教育や起業家育成教育に取り組むもの。主な内容:起業教育=「いきいきゲーム」、ものづくり教育=「ものづくり探検隊、こども科学教室」(発明・工作教室、工場見学、科学教室、ロボットコンテスト等。)		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	子ども創造塾事業	小学生・中学生	①「いきいきゲーム」小学校:10校②「ものづくり探検隊」2回	・いきいきゲーム 小学校6校(484人)・ものづくり探検隊 1回(16人)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	570	618	534	447	「将来社会に出て仕事をしたいと思いますか?」の項目。
人件費	2,011	5,031	1,679	2,305	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,581	5,649	2,213	2,752	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	「トレーディングゲーム」「発明・工作教室」「工場見学」「子ども科学教室」等の開催	13	13	12	7	
02	参加者数	652			500	①「トレーディングゲーム」小中学校:6校484人 ②「ものづくり探検隊」1回16人

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

市内企業の工場見学、ものづくり教室、いきいきゲームを実施し、学校からの評価や小学生に対するキャリア教育につながっている。

問題点・課題等

いきいきゲームは、講師及びサポートの人員確保が困難になっているほか、調整事項が多く担当者の事務負担となっている。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

いきいきゲームの運営は、講師資格の取得が必須となっており、民間委託に意向していくためには、受託先候補や費用負担を考えていく必要があるが、民間委託の可能性を検討しつつ、事業を継続していく。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了